

## いきいき四国通信Vol. 50

(四国地方整備局からのメッセージ)

## ◆◆◆四国地方整備局トピック 2014.4.10◆◆◆

\*\*\*\*\*

四国地方整備局長の三浦です。満開の桜とともに新年度がスタートしました。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

## (1) 平成26年度予算

国土交通省関係の平成26年度予算は、

- ・東日本大震災からの復興加速
- ・国民の安全・安心の確保
- ・経済・地域の活性化

の3つの柱となっております。

四国の予算は全体額で3,169億円(対前年1.09%)  
うち、直轄1,379億円(対前年1.08%)、  
補助・交付金1,791億円(対前年1.10%)。

直轄事業別

河川事業等	53,215	百万円	道路事業	72,493	百万円
港湾事業等	8,972	百万円	空港事業	1,216	百万円
都市水環境整備	389	百万円	国営公園等	663	百万円
営繕事業	936	百万円			

補助・交付金関係の県別

徳島県	29,928	百万円	香川県	27,089	百万円
愛媛県	57,633	百万円	高知県	61,462	百万円

となっております。

## (2) 新規事業

主な新規事業は、

- ・「高松地方合同庁舎(2期)」(香川県高松市)
- ・「東予港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業」(愛媛県西条市)

です。

## (3) 完了・供用予定

主な完了(供用)予定事業は、

[徳島県]

- ・吉野川総合内水緊急対策事業 瀬詰箇所
- ・一般国道11号 徳島インター関連(徳島市川内町)
- ・一般国道192号 徳島南環状道路(大木IC(仮称)～徳島市八万町橋北)
- ・徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル(耐震強化岸壁)

[香川県]

- ・一般国道11号 大内白鳥バイパス(東かがわ市白鳥～東かがわ市川東)

[愛媛県]

- ・肱川土地利用一体型水防災事業 大和(上老松)
- ・一般国道33号 松山外環状道路インター線(市坪IC～余戸南IC)
- ・一般国道56号 宇和島道路(岩松IC(仮称)～津島高田IC)

[高知県]

- ・一般国道55号 高知南国道路(高知南IC(仮称)～高知東IC(仮称))
- ・一般国道55号 大山道路(安芸市下山～安芸市河野)
- ・一般国道56号 土佐市バイパス(高知市春野町広岡上～土佐市中島)

の開通、完成が予定されており、事業の効果が期待されます。

## (4) 実感と未来

太田大臣は、今年は「実感」と「未来」、この2つをキーワードにして取り組みたいと新年の抱負を述べられました。四国でもこの方針に従ってしっかりと防災・減災対策などの進展が実感でき、未来の安心がみえるよう頑張っていますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

四国地方整備局長  
三浦 真紀

※予算の内容はホームページでもご覧になれます。

[http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosanngaiyo26/index\\_26jikkei.html](http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosanngaiyo26/index_26jikkei.html)

\*\*\*\*\*

## ■国営讃岐まんのう公園「春らんまんフェスタ」開催

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園では、3月21日（金・祝）から5月11日（日）まで『春らんまんフェスタ』を開催しています。4月上旬は飛竜の花道で100品種24万株のスイセンや、お花見広場で多品種のサクラなどがお楽しみ頂けるほか、4月中旬頃からは花竜の道で35品種5万本のチューリップ、さめぎの森などで自生種の花木オンツツジが咲き誇ります。その後も青い絨毯のようなネモフィラ、赤やオレンジのポピー、クレヨンのような形をしたルピナスなど、5月末頃まで園内各所で色とりどりのフラワーリレーが続きます。

期間中は週末を中心に、季節の花を使った作品を作るハーブ教室や、天然酵母を使ったパン教室など各種体験教室のほか、初心者向けの「ノルディックウオーク体験」や「紙飛行機の滞空時間コンテスト」など盛りだくさんのイベントを開催します。4月27日（日）には地元の伝統芸能披露やステージショーのほか、抽選会や特産物販売などがある『まんのう町の日』を、5月10日（土）・11日（日）には、毎年好評の『第4回四国B級ご当地グルメフェスタ in まんのう公園』を開催します。四国4県のB級グルメが集結するほか、茨城県のハム焼きなど四国外からも応援出店があります。

皆様、ぜひ国営讃岐まんのう公園の『春らんまんフェスタ』にご来園ください。

※1. 4月27日（日）、5月4日（日・祝）、5月5日（月・祝）は入園無料日です。（5月5日（月・祝）はこどものみ入園料が無料です。また、各日とも駐車料金が別途必要です。）

※2. 季節の花情報や旬のイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。（<http://www.mannoukouen.go.jp/>）

## ■吉野川「加茂第一堤防竣工式」について

【徳島河川国道事務所】

3月2日、徳島県三好郡東みよし町西庄の「東みよし町三加茂農業者トレーニングセンター」において、地元関係者、国会議員、徳島県関係者、東みよし町関係者、主催者（東みよし町・徳島県・四国地方整備局徳島河川国道事務所）など、105名の参加のもと、加茂第一堤防竣工式が執り行われました。

加茂第一堤防は吉野川左岸62k/0～65k/0（延長約4.45km）に位置し、事業は昭和59年度から用地買収に着手、平成元年度から工事に着手し、吉野川の洪水氾濫から地域を守るための築堤事業を進めてきたものであり、約30年の歳月を経て平成26年3月に完成となりました。

戦後最大流量を記録した平成16年10月台風23号洪水時には、吉野川流域において甚大な浸水被害が発生しました。

当箇所においても堤防による締切ができていなかったため、浸水面積44ha、浸水家屋数37戸（床上16戸、床下21戸）の被害が発生し、地域の皆様から早急な整備を求める要望を強くいただき、鋭意築堤事業を実施してきました。築堤事業の完成により、平成16年10月洪水と同規模の洪水に対しても、吉野川の氾濫による浸水被害を解消することができます。

竣工式では、徳島県知事、東みよし町長、四国地方整備局長から主催者挨拶、山口衆議院議員、中西参議院議員、三木参議院議員及び越智水資源部長から祝辞、徳島河川国道事務所長から加茂第一堤防の概要説明を行いました。

東みよし町長の挨拶では、『台風・梅雨による洪水で浸水被害に悩まされてきた当地区において、堤防の完成は地元住民の念願であり、浸水被害が解消されることに対し、多くの関係者に感謝する。』とのお言葉をいただきました。前夜の雨もやんだためその後、場所を完成した堤防天端に移動し、地元三庄小学生6名も加わりくす玉開披をおこないました。

式典終了後には東みよし町主催による祝賀のもちまきが水辺の楽校として整備された高水敷でおこなわれました。

最後に「東みよし町三加茂農業者トレーニングセンター」に戻り防災食の試食、地元「わかあゆ連」による阿波踊りの披露を行い、竣工式を無事終えることが

出来ました。

本事業の完成により、当該地区がますます発展されることを祈念するとともに、地域住民の生命・財産を守るべく他の箇所においても、築堤事業を着実に推進することにより吉野川上流部の無堤地区の解消を図っていきます。

■高知東部自動車道 南国芸芸道路  
(香南のいちIC～香南かがみIC間 延長2.2km)が開通 【土佐国道事務所】

土佐国道事務所が平成12年より整備を進めてきた「高知東部自動車道 南国芸芸道路」のうち、「香南のいちIC～香南かがみIC」間の2.2kmが暫定2車線で完成し、平成26年3月9日(日)午後5時30分に開通しました。

当日は、午後1時20分より、高知県、香南市、土佐国道事務所の主催で開通式典を執り行いました。式典には地方選出の国会議員、高知県及び香南市の関係者や地元関係者など約140名の方々に参加いただきました。

式典は、はじめに主催者である香南市長の挨拶に続き、四国地方整備局長の挨拶、来賓祝辞、工事経過報告や祝電披露のほか、本日の開通に思いを込めた地域の方々からのビデオレターが紹介されました。

引き続き、今回開通する香南市野市町土居地区の緊急避難施設付近に移動し、テープカット、くす玉開披、自衛隊、消防署、国交省の災害対応車両による開通記念パレード等が執り行われました。

今回の開通により、香南のいちIC～芸西ICの起終点が現国道と直接繋がり、高知東部エリアにとっては、救命救急のための「命の道」が繋がるだけでなく、今回開通区間に2箇所の緊急避難施設の整備も行われ、防災面で大きな効果を発揮します。

また、高知市と高知東部エリア間のアクセスが向上することから、地域経済の活性化にも貢献します。

今後、高知東部自動車道の早期開通に向けて、高知南国道路「高知南IC(仮称)～高知東IC(仮称)」間を平成26年度内、「高知東IC(仮称)～高知空港IC(仮称)」を平成27年度内の開通を目標としており、土佐国道事務所としては、この実現に向けて、全力で整備を進めていきます。

■須崎港湾口地区防波堤が竣工 【高知港湾・空港整備事務所】

高知港湾・空港整備事務所が、大規模津波から須崎市中心部を防護する機能を持つ津波防波堤として整備を進めてきた「須崎港湾口地区防波堤」が平成26年3月に竣工したことを記念し、3月15日に四国地方整備局、高知県の主催で竣工式を執り行いました。式典には、国会議員、高知県知事、須崎市及び関係者など約180名の方々にご出席いただきました。

式典では、はじめに四国地方整備局長が式辞を述べ、続いて高知県知事、本省港湾局長より挨拶がなされ、来賓の方々よりご祝辞を頂き、事業概要説明、須崎市長からの歓迎挨拶を頂き祝電披露が行われました。

その後、地元ゆるキャラ「しんじょうくん」(須崎市)と須崎市立須崎小学校児童6名も参加し明德義塾中学・高等学校マーチングバンド部のファンファーレとともにテープカットとくす玉開披を行い、完成を祝いました。その後マーチングバンド部の皆様に記念演奏を披露して頂き華やかな式典となりました。また式典終了後、竣工祝賀会実行委員会による「もち投げ」も行われました。

南海トラフを震源とする大規模地震・津波による甚大な被害が危惧される中、防災・減災対策は喫緊の課題です。更に今年度より、東南海・南海クラスを超える規模の地震津波が来襲しても防波堤が倒壊しないよう、粘り強い構造へ改良する工事に着手しており、これにより、須崎市民の安全・安心が一層向上することと確信しております。

■松山外環状道路インター線(井門IC～古川IC間 延長1.2km)が開通 【松山河川国道事務所】

松山河川国道事務所・愛媛県・松山市が平成16年度より整備を進めてきた「松山外環状道路インター線」のうち、「井門IC～古川IC」間の1.2kmが暫定2車線で完成し、平成26年3月16日(日)午後4時に開通しました。

当日は、午前10時より愛媛県、松山市、松山河川国道事務所の主催で、開通式典を執り行いました。式典には地方選出の国会議員、愛媛県及び松山市の関係者や地元関係者など約150名の方々に参加いただきました。

式典は、はじめに主催者である愛媛県知事、松山市長の挨拶に続き、四国地方整備局長からの挨拶の後、来賓祝辞、工事経過報告や祝電が披露されました。

引き続き、今回開通する松山市北井門2丁目の井門IC付近に移動し、松山市消防音楽隊によるプラスバンド演奏の後、テープカット、くす玉開披、ラッピングバスおよび国交省の災害対応車両による開通記念パレード等が執り行われました。

今回の開通により、古川IC方面から松山ICへ直接乗り入れが可能になり松山ICを利用する方の利便性が向上するとともに、市街地と松山ICのアクセスルートが増え、天山交差点をはじめとする市内の渋滞緩和が期待されます。

松山河川国道事務所は、松山外環状道路の整備を松山市内の渋滞緩和を担う道路として、また地域経済の発展を担う道路として、松山外環状道路インター線の平成26年度内の「市坪IC～余戸南IC」1.8km供用を、また平成28年度内の一日も早い全線開通を目指し、愛媛県、松山市と一体となって全力で事業に取り組みます。

\*\*\*\*\*  
四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

\*\*\*\*\*  
「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:seibikyoku@skr.mlit.go.jp>

\*\*\*\*\*「いきいき四国通信」事務局 \*\*\*\*\*  
「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部  
【担当】後藤(内3126)、仙波(内3176)  
〒760-8554 高松市サンポート3番33号  
電話(087)851-8061/FAX(087)811-8408  
<mailto:seibikyoku@skr.mlit.go.jp>